

かけはし

令和6年度 富士市立今泉小学校
—学校教育目標— 6月号
「やさしく たくましく」

※今号の枠の色は、SDGsの17の目標をカラーで表したうちの1つ「KELLY GREEN」です。

校長

第1ステージ「新しい友達と仲良くしよう」(挨拶・言葉遣い)

新緑が目に見え鮮やかな季節です。とりわけお茶の淡い緑色の若葉は、古い濃い緑色の葉とのコントラストがみごとです。今泉小の校地内でも多くの新緑を見ることができ気持ちが良いのですが、運動場の至る所で勢力を増す雑草にはいささか閉口します。そのような折、PTAの皆様が、プール清掃とともに、やってみよう今小スポーツ大会に向けて、運動場や校地内の除草を行ってくださいました。この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。

今泉小では、美しい教育環境づくりのため、1年を3つのステージに分け、それぞれにテーマを設定して取り組んでいます。4月から7月までの第1ステージは「新しい友達と仲良くしよう」が目標です。そのアプローチとして挨拶や言葉遣いを大切にするようにしています。そこで、今号では「言葉」について考えてみます。

人が言葉を使うのはどうしてでしょう。言葉を発する場面を考えてみると、一人ではいるときは基本的には言葉を発しません。2人以上でいる時には言葉を発します。ただし、ずっと話しているわけではなく必要な時に言葉を交わします。では、必要な時とはどんな時かというと、自分の思いや考え、感情などを伝えたい時だと思います。要するに、コミュニケーションをとるために言葉を使うのだと言えます。

もちろん、黙ったまま身振り手振り等でも伝えることはできます。むしろ、一言も発することなく表情や目線で思いを伝えることができればすごいです。でも、これには条件があります。それは、いつも一緒にいることでわかるようになる「このような場面では、相手はこう思うだろう」という、パターンに呼応した受け取り側の推測です。相手のことを十分理解し把握していればこそできることです。でも、そうでない場合はやはり言葉が一番の伝達手段といえます。

さらに、語気の強弱や、体の動きや顔などの表情を加えると、自分の考えや気持ちはより相手に伝わりやすいと考えられます。その場合、伝えたい内容だけでなく「それにかかる意志」や「現在の感情」といった部分が加わって相手に伝わります。また、それが伝えたい内容であることもしばしばあります。例えて言えば「ありがとう」と目も合わせず単調に言うよりも、相手の方を向いてにっこり笑って「ありがとう」と言う方が、伝えたい内容である感謝の気持ちが伝わるということです。

時と場に応じて会釈をしたり声を出さずに反応したりすることもあります。そういった反応も成長に応じて獲得しつつ、根本的には笑顔とあたたかな声色で挨拶のできる子供を育てていきたいと思っています。

今年度の重点目標
「やってみよう あなたもわたしも 笑顔いっぱい」を達成するために

心を育てる(生徒指導)

「学校が楽しい」と感じる大前提として、学校が子供たちにとって心身ともに安心・安全な居場所であればなりません。

そのため、日頃から、気持ちのよいあいさつをすること、丁寧な言葉遣いをすること、周囲を思いやる落ち着いた振る舞いをすること、感謝の気持ちを伝えることなど、心地よい学習環境にしようとしている児童の姿を積極的に認め、互いに高め合うことができるようにしています。

一方で、いじめを認知した場合には、「どのような理由があろうとも、絶対に許されない行為」として認識し、迅速に対応します。また、年3回のアンケートや全児童との面談を通して、いじめ問題の未然防止、早期発見・早期対応に努めます。ご家庭におかれましても、お子様の思いに寄り添い、何か心配なことがある場合は、遠慮なく学校にご相談ください。その他、「ほっとデジタル相談ふじ」等の相談窓口もご活用ください。

学びをつくる(学習指導)

「対話を通して考えを深める授業」を目指しています。

「対話」は、「他者と」だけするものではありません。自分自身の経験や考えそのものと対話することもありますし、「教材(もの・こと)」と「先哲と」じっくり向き合い、対話することもあります。その中で、すぐには答えの出来ない問いであっても、投げ出すことなく、試行錯誤しながら、ねばり強く取り組む子を育てていきたいと考えています。また、筋道立てて考え、根拠・理由・主張の3点セットで相手に伝えることができる、論理的思考力・表現力を着実に身に付ける学習となるよう努めています。

2年生 野菜の苗植え

それに伴い、実物に触れたり、実際に体験したりして、より実感を伴った学習となるように配慮しています。また、タブレットなどのICT機器を積極的に活用し、思考力・判断力・表現力を磨くことができるようにしています。

ご家庭におかれましても、お子様の学びにおける「対話」を積極的に受け止め、興味関心の翼を広げる声掛けや支援をお願いします。

関係をつくる(特別活動指導)

一人として同じ顔の人がいないように、自分と全く同じ考えの人はいません。大きな声や多数派に迎合するのではなく、多様な考えを生かす建設的な話し合いを通して、合意形成を図ったり、意思決定をしたりしながら、よりよい人間関係を築いていく力を育てていきたいと考えています。

4年生 学年総会の様子

そのため、学級会や児童会での話し合い活動を大切にしています。代表委員会の様子は、国会中継しながら全校に配信することで、自分事として捉えられるようにし、主権者教育の一端を担います。また、係活動や委員会活動では、創意工夫ある自主的・実践的な取組となるよう励ましています。

さらに、異年齢集団での交流を通して、互いに刺激し合う場を設定し、励ましたり教え合ったりする関係を深めるため、各種行事を、たてわりグループで行います。

ご家庭におかれましても、お子様がどんなアイデアをもって係活動や委員会活動に取り組んでいるか、たてわり活動でどんな気づきがあったか等、話題にしていただけましたら幸いです。

地域とともに コミュニティ・スクール

今泉ならではの豊かな地域材に目を向けて、理解を深めるとともに、この土地に暮らしていることに誇りや愛着をもち、地域のために自分も何か役に立ちたいという思いをもつことができるようにしていきます。「笑顔いっぱい」の今泉になるよう、地域の皆様、保護者の皆様のお力添えをよろしくお願いします。

3年生 学区探検
CSボランティアの皆様と

学校運営協議会委員の皆様